

【レジメン名】
ニボルマブ療法

【適応疾患】
胃癌 ☒ 進行・再発 ☐ 術前補助 ☐ 術後補助

【インターバル日数】
1 コース 14 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
ニボルマブ/Nivolumab 240mg/body	点滴静注	30 分	day1

【注射スケジュール】

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d14	d1
生理食塩液	50mL	ルート確保	点滴静注	15 分	↓				↓
生理食塩液 オブジーボ	50mL 240mg/body	抗癌剤	点滴静注	30 分	↓				↓
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	15 分	↓				↓

【副作用】

《オブジーボ単独投与》【各適応症を含めた副作用】

疲労(21.9%)、そう痒症(14.4%)、下痢(13.1%)、発疹(11.9%)、悪心(10.8%)、食欲減退(7.4%)、甲状腺機能低下症(7.1%)、関節痛(6.2%)、無力症(5.3%)

《重大な副作用》

肺臓炎、肺浸潤、肺障害等の間質性肺疾患(3.0%)、重症筋無力症、心筋炎、横紋筋融解症(いずれも頻度不明)、筋炎(0.1%)、大腸炎(1.3%)、重度の下痢(1.0%)、1 型糖尿病(劇症 1 型糖尿病を含む)(0.4%)、免疫性血小板減少紫斑病(頻度不明)、AST(GOT)増加、ALT(GPT)増加、 γ -GTP 増加、AI-P 増加等を伴う肝機能障害(0.7%)、肝炎(0.3%)、硬化性胆管炎(頻度不明)、甲状腺機能低下症(7.1%)、甲状腺機能亢進症(3.1%)、甲状腺炎(1.2%)等の甲状腺機能障害、末梢性ニューロパチー(1.2%)、多発ニューロパチー(0.1%)、自己免疫性ニューロパチー、ギラン・バレー症候群、脱髄(いずれも頻度不明)等の神経障害、腎不全(0.5%)、尿細管間質性腎炎(0.1%)等の腎障害、副腎機能不全(1.0%)等の副腎障害、脳炎(頻度不明)、中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、類天疱瘡(いずれも頻度不明)、多形紅斑(0.2%)等の重度の皮膚障害、(0.1%)、肺塞栓(0.1%)等の静脈血栓塞栓症、アナフィラキシー、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難、過敏症等を含む Infusion reaction(2.5%)